

沖繩作戰終末第十一船泊團史實資料

昭和三十三年三月二十五日

第三十三軍殘務整理部

(7)

一、第六艦隊團軍部及配置

第十一艦隊團司令部

海上機遣第一戰隊

海上機遣基地第一大隊

海上機遣第二戰隊

海上機遣基地第二大隊

海上機遣第三戰隊

海上機遣基地第三大隊

海上機遣第四戰隊

海上機遣基地第四大隊

海上機遣第五戰隊

海上機遣基地第五大隊

海上機遣第六戰隊

海上機遣基地第六大隊

(重)

廣島團別集

真室里

與那原

海上機遣第一八戰隊

海上機遣基地第一八大隊

海上機遣第一九戰隊

海上機遣基地第一九大隊

船舶工兵第三三隊

海上機遣第一九戰隊

特設水上勤務部

第二作戰準備期

敵泊地... 廣島... 嘉手... 海軍特設部...

置シ敵上陸前(輸送)船舶地ヲ秘密ニ奇襲シ情況ニ依リ
書問ト雖モ之ヲ疑行スベリ又船玉隊隊ニ依リ逆上陸ヲ企
画シ各種兵器ヲ準備シテ要領ヲ
又連絡機出雲須ハ地上戦斗部隊ヲ編成シ津嘉山地区ニ陣
地ヲ占領シ戦斗スベリ準備シテ
一、冠布城

海軍方面ニ於テハ艦ヲ掩護陣地ノ構築ニ重要トテ指向シ各
隊又五〇名ヲ充テシ地上戦斗ノ陣地ニ概成ノ状況タリ
ニ整備状況

各戦隊共④ノ完備見モノ各八十隻
但シ第一九戰隊ハ中隊長ノ指揮スル十五隻ノ
船舶工兵隊隊員共々完備セル大砲新機約四〇隻ヲ有燃
料燐雷、其他依屬資材概テ不支障ナキ程
度タリ

三、教育

夜間航行実技初級水訓隊ヲ重要ニ教育セリ之ヲ爲
シ陸軍幹部教育及海軍兵隊員ヲ完備セリ一方甚だ隊
ニハ地帯間ヲ重視教育ス

四、兵器資材

野戦ニ於テハ戦用兵器資材ハ各種ノ手段ヲ講ジ概不
ハ。略大砲四〇%ヲ整備セルモ運搬用資材殆トク無シ
テ訓練ニ大クニ支障ヲ与ヘリ甚だ隊ノ整備兵器資材
直前及用敵大附コラレ概不一般歩兵大隊トシテ行動シ
得ル状態ニ至レリ資材中松木及土工作業資材不足
ニ相當困難ニ陣地強度ニ影響有ラズ所ナリ
要領理給養

経理業務ハ概不順調ニ進行セリタリ給養ニ概不順
調ナリシモ他用ノ用備ハ度々回復力強ク相違低下

シヨリタルモ最力ニハ支障ナキ程度ニシテ
六、輸送

郵政特種郵便送力ノ必要ニハ極ク大ナリモ此ハ輸送力
無ニテモシキ状態ニシテ最力ニ及ボス所無カラズモ
得ル限リ海上輸送ヲ實施スル外用信郵政既ニ
モシテ行初シ場タル状況ナリ

七、通信
軍上野密ナル連絡ノ下ニ團長ノ意ノ如ク各部既ニ
得ル如ク特ニ急用ノ各部既ニ無線及補助通信機ヲ
實施シ教育又併セテヒ完備ナリ期シタリ

八、衛生
衛生状況ハ概不良ニシテ最力ニ及ボス所無カラズモ
病ノ發生ヲ見之カ防疫ノ為メ一時相當ノ努力ヲ
第二期 交戦期

昭和十一年三月五日 第一船團長 八海上陸軍第五軍団長 陸軍

軍船團員ヲ帶同シ慶賀團外長各都府ヲ巡視云云云云

翌年三月五日 同日三月五日 同日三月五日 同日三月五日

同日三月五日 同日三月五日 同日三月五日 同日三月五日

同日三月五日 同日三月五日 同日三月五日 同日三月五日

同日三月五日 同日三月五日 同日三月五日 同日三月五日

同日三月五日 同日三月五日 同日三月五日 同日三月五日

同日三月五日 同日三月五日 同日三月五日 同日三月五日

同日三月五日 同日三月五日 同日三月五日 同日三月五日

Vertical text on the right page, likely bleed-through from the reverse side. The text is mostly illegible due to fading and bleed-through.

第七野戰船舶廠洋纜支廠履歷之概要

昭和十九年八月十五日

昭和十九年八月十五日

昭和十九年八月十五日

昭和十九年九月一日

昭和十九年十月十日
昭和十九年十月十日

編成完結時

第七野戰船舶廠洋纜支廠

船廠司令部倉庫迄迄下リテ廣島ニ於テ
編成完了

海路廣島港迄迄

鹿兒島港迄迄

那霸港迄上陸同港南岸廣島ニ位置シ

第七野戰船舶廠司令部洋纜支廠ニ至

下ニ入リ業務ヲ開始ス

下流村洞ニ工場ニ移動

軍令ニ依リ第七野戰船舶廠編成完了

子同時ニ同洋纜支廠編成完了第七

野戰船舶廠司令部洋纜支廠

第七野戰船舶廠洋纜支廠

福州、支那内地、各部隊ヨリ、輸送者及一部、召集者ヲ以テ
補給ス、裝備ハ軍需品トシテ、之ノ定数、兵隊
積、亦附テ、聯隊司令、兵隊積トシテ、傷管人、兵隊積
不機力、鬼軍集セルモ、尚、兵隊積ニシテ、南、西、諸島、船隻、対、人、
修理、補給、ヲ、実施、スル、上、三、相、高、支、障、ヲ、示、ス、状、態、ナ、リ、個、人、
備、ハ、兵、員、約、十、分、一、ノ、下、統、ヲ、擔、行、シ、タ、ル、程、度、ニ、シ、テ、他、兵、
無、ク、状、態、ナ、リ、
二、教育

臺灣、ハ、状、況、ニ、依、リ、部、隊、ノ、團、結、兵、器、資、材、輸、送、圖、ス、ル、於、
カ、重、要、ト、シ、テ、宣、施、セ、リ、
三、輸、送

廣、島、港、ヨリ、神、戶、支、店、ニ、依、リ、切、截、明、司、港、ニ、於、テ、修、截、機、
實、施、ス、特、重、要、物、多、ク、支、隊、ノ、積、載、ハ、特、重、要、物、ニ、對、シ、
要、リ、
四、經理、衛生
特、記、事、項、ナ、シ

第二期 自昭和九年九月一日 上陸ヨリ戰ヲ開始ス

一、廣、島、港、ヨリ、神、戶、支、店、前、ニ、計、畫、ヲ、更、更、シ、部、隊、ノ、主、力、ハ、支、隊、ト、シ、
二、現、在、位、置、ス、ル、決、シ、テ、部、隊、ヲ、神、戶、支、店、前、ニ、移、シ、
三、南、洋、支、隊、ニ、支、隊、ノ、主、力、ヲ、又、本、兵、隊、及、各、部、隊、輸、送、機、
三、兵、隊、支、隊、所、ヲ、配、置、シ、
四、比、島、方、面、ニ、對、シ、テ、南、下、船、團、ノ、補、給、修、理、ニ、重、要、ヲ、示、シ、
五、現、在、位、置、ス、ル、決、シ、テ、部、隊、ノ、主、力、ヲ、神、戶、支、店、前、ニ、移、シ、
六、現、在、位、置、ス、ル、決、シ、テ、部、隊、ノ、主、力、ヲ、神、戶、支、店、前、ニ、移、シ、
七、現、在、位、置、ス、ル、決、シ、テ、部、隊、ノ、主、力、ヲ、神、戶、支、店、前、ニ、移、シ、
八、現、在、位、置、ス、ル、決、シ、テ、部、隊、ノ、主、力、ヲ、神、戶、支、店、前、ニ、移、シ、
九、現、在、位、置、ス、ル、決、シ、テ、部、隊、ノ、主、力、ヲ、神、戶、支、店、前、ニ、移、シ、
十、現、在、位、置、ス、ル、決、シ、テ、部、隊、ノ、主、力、ヲ、神、戶、支、店、前、ニ、移、シ、

概、不、並、通、修、理、ニ、大、キ、支、障、ヲ、示、シ、テ、特、種、部、品

一補給班ノド皆並ニ状況ニ依リ意ヲ加クテモガレモ又勤カナル
所ニテハナリ
二學校ノ集積

一陸軍ヨリ隨時ノ空爆機ヲ射撃等ニ備ヘ修理工場重要資料
ハ左列ノ下工場ノ倉庫ノ取捨又ハノ準備等ヨリシテ九月十日頃
概シテ完テシテ修理工場又重要資料ハ左ノ地ニ移動シ其ノ地
地城ニ分散集積シ業務ヲ開始セリ又敵上陸時ノ畏テ準備
等ニテ完テシテ修理工場又重要資料ハ左ノ高地地帯ヲ構築シ之
修理工場ヲ同様に移動シ敵ヲ拘ルル地ニ其ノ修理工場ハ
十月十日頃空爆機ヲ射撃等ニ備ヘ修理工場ノ重要資料ハ左
船司令官ヨリ修理班ヲ與ヘタル
三教育

特任志ニ対シテハ業務ヲ遂行シシノ技術ノ教育ヲ特任
志ニ備人ニ対シテハ地上戦ヲノ教育ヲ重要ニ教育セリ
四一般兵器資料

軍人員ニ対シテハ約十令ノ一ノ見ヲ履行セシモ備人ノ補給ニ依リ其ノ
所有車ハ逐次低下セリ其ノ代上業務ヲ用其者ハ皆悉ク其
逐次故障機軸ノ後敵火着テ知下シ新ヲ開始セシハ重機
銃ノ四枚用砲三迫撃砲等ノ用故用爆雷自製手榴彈
其ノ他應用機軸資料ヲ相當製作保存シテリ
五修理班ノ長

修理ノ般ハ概シテ修理ノ實施セラレタルモ上陸直後即チ修理ニ於テ
空爆機ニ付タルト人員ノ急激ナル増加ニ依リ修理班ノ員モ各
種ノ状況現存リ修繕ニ於テハ相當困難ヲ呈スルモ現存自修等
各種ノ手段ニ依リ戰力モハ修理ナク程度ヲ確保得リ
六輸送ノ通信

補給資料材料ニ備用燃料ハ周圍ト出入各處激シテ令敵ヲ集積
補給ノ重要資料ニモカラス地上輸送機軸ハ極力倉庫ニ集積シ其ノ
運搬外下ノ最ニ困難セル地ニテハ通信施設ヲ有セザルハ大差
干ノ不便アリタルモ大ナル支障ナカリ

第... 野戦兵器廠... 第一師團... 四月十日

連夜... 四月十五日

四月十五日... 連夜... 四月十五日

四月十五日... 連夜... 四月十五日

四月十五日... 連夜... 四月十五日

四月十五日... 連夜... 四月十五日

二月十九日

通持部流ヲ解散シ敵中ヲ突取本島北部ノ森林地
区ニ誘入ケリテ敵ヲ誘行スルヤ今ヲ要シ六月廿日以後
敵中突取終入ヲ開始セリ

第七艦船輸送司令部沖繩支隊履歴ノ概要

昭和十九年三月

廣島艦船司令部本部ニ於テ編成シ完結

昭和十九年四月三日

鹿児島港迄去死

昭和十九年四月九日

那覇港上陸前哨ニ派遣シ準備ヨリ開始ス

編成左ノ如シ

第七艦船輸送司令部沖繩支隊

同宮古島出張所

同奄美大島出張所

指揮下部隊

艦船通信第一隊第二中隊

第七船指撥送司令部規支部隊才經過概要

第一 要旨

第七船指撥送司令部規支部隊才經過概要
第六船指撥送司令部規支部隊才經過概要
頃部隊長平賀中佐戰死ヲ櫻松トシテ部隊主要人員退去ヲ戰
死ト述ケ生在ナル者殆ド皆無ク狀態ニテリ。為ニ本艦艦長及副艦
生在散在シテリシ兵士約憶テ述リ之ヲ是處トシテ記述セル事ニ
シテ真相ト相離レル所ナクテ保シ難シ
一 概要

河作島附近に在リシ第七隊嘉山及那覇地区ニ在リシ樺葉概不シリ
二 船指撥概要

概不支障ナク進行シ得タルモ港灣施設ノ不完備等ニ依リ相當艦
影響ヲ受ル事アリ
三 教訓

更勝於前ノ要領トシテ要領起程ヨリ重視ス莫施カリ

四 要領起程概要

要領起程概要
要領起程概要
要領起程概要

五 艦隊衛生
艦隊衛生
艦隊衛生

第三 交戦期

第三 交戦期
前日未定艦隊着艦後シテ加ヘテ三四百至南海岸敵艦
砲射直ニテ受ケタルヲ以テ入港中ニ艦隊ヲ全ク退避スル保安処置ヲ
取ル

二 要領起程
部隊在員等計甚多準備已ル要領起程ニ移ルニ特設第
一艦隊トナリ津嘉山地区於テハ津嘉山島積荷物資材ノ積積及部員等
面ニ対スル敵ノ上陸ヲ警戒シ四圍不向ニ至ル迄同任務ヲ繼續行ス

四 要領起程
天長ノ任 部隊在員等計甚多準備已ル要領起程ニ移ルニ特設第
一艦隊トナリ津嘉山地区於テハ津嘉山島積荷物資材ノ積積及部員等
面ニ対スル敵ノ上陸ヲ警戒シ四圍不向ニ至ル迄同任務ヲ繼續行ス

五 艦隊衛生
艦隊衛生
艦隊衛生

昭和三年三月三日 正統教備下令ト云々 帝命圓融百歳ニ臨儀也
ヲ以テ其禮稱ノ初ニ統臨送及此送送ニ任ス
五月上旬對空建都隊一ノ少隊ヲ編入ニ荒城陣地ヲ占領
吾爾不向宜壽次ニ集結シテ少隊ヲ編入ニ荒城陣地ヲ占領
若加我房主下ニテ朝鮮人會天ハ作然輪重隊ニ於テ兵站業務任ス
五月十九日、摩文仁殿后、彈幕者亂送テ行ク同也附町ニ於テ我
才ニ兵站業務任ス決損害ヲ修加シテ一日頃殆ト在病ニ生者八不
力三三石ナリ